

次世代を担う社会に有用な人材を育成する

# ネイティブ英会話 OCEAN ENGLISH CLUB

英語トレーニング (E-トレ)  
(対象:年少~高3・一般)

## ご案内

Language paves the way for the future.

# Q&Aで分かる！

## 「英語ってどうすれば身につくの？」

お子さまの英語学習には、ご家庭の理解・サポートが必要です。

「えっ、でも、私自身は英語が大の苦手で……」、なんてご心配はいりません。

まずは、「英語はこんなふうにならないうちから」というイメージを正しく持ってください。

そして、英語習得に向かって努力するお子さまを、温かく見守り、励まし続けてください。

それだけで十分です。

### Q 小さいうちに始めれば、英語が自然に身につくってホント？

英語って、一体どんなふうにならないうちから身につくのでしょうか。「幼いうちから触れていれば、自然にならないうちから身につくんじゃないの？」と、お考えの方もおられるでしょう。児童英語業界でも、このような宣伝をまだまだ見かけます。

けれども、実際には、外国語である英語が「自然にならないうちから身につく」ことはありません。もちろん簡単な英単語や決まり文句であれば、子どもたちはそう苦労せずに覚えますから、その様子をご覧になって「自然にならないうちから身についた！」とお感じになることはあるでしょう。しかしながら、そのままの勢いで、たとえば中学レベルの英語が「自然にならないうちから身につく」ことはありません。ましてや、無意識のうちに英語で話し始める、というようなことは起こらないのです。

「英語が自然にならないうちから身につく」という期待を、まずは捨てること。

このことが、お子さまの英語学習をお考えいただく際には、最も大切です。結局のところ、「自然にならないうちから身につく」が魅力的に思えるのは、「楽にならないうちから身につく」と期待する気持ちがあるからでしょう。しかしながら、努力なしに英語が身につくことはありません。甘い期待を抱くことは、本来必要となる努力から目をそらすことにつながります。

「自然にならないうちから身につく」のではなく、お子さまが英語への興味を持ち続け、必要な努力をコツコツと重ねていけるよう、見守っていただくことが大切です。

### Q でも、どうして自然には身につかないの？

とは言っても、「どうして自然には身につかないの？」と疑問に思われるかもしれません。理由を一言でいえば、「一般的な日本人にとって、英語は外国語であり母語ではないから」、となるのですが、もう少し丁寧に説明しましょう。

日本人の子どもは日本語を、英語圏の子どもは英語を、それぞれ2歳くらいから話し始め、6歳になるころにはずいぶん使えるようになります。こんな短期間に、しかも知らず知らずのうちに言葉を身につけるということを、私たちは自らの子ども時代に経験し、また子育てを通して経験しています。おそらく、この経験があまりに自然で心地よいために、外国語である英語についても、同じように身につくことを期待してしまうのでしょう。

しかしながら、生活の中で自然にならないうちから身につけることができるのは、母語や第二言語の場合に限られます。母語とは、例えば日本人にとっての日本語や、アメリカ人にとっての英語を言います。第二言語とは、例えばアメリカに移り住んだ日本人にとっての英語を言います。

母語環境と外国語環境は、まったく異なります。その言語に触れる時間も、その言語が生活に必要不可欠かどうかという点でも、比べものになりません。母語であればこそ、生活に密着した膨大な言語体験を通して、あたかも自然にならないうちから身につけることができるのです。このような言語環境の違いを無視して、外国語学習を、母語や第二言語の獲得と同じように考えるのは間違いです。

このことをご理解いただければ、次のような言い方にはおかしな点が含まれていると気づかれるのではないのでしょうか。

—「日本語を身につけるのに、特に勉強なんかしなかったですよね。英語も一緒です。アメリカ人が英語を身につけるのに、文法なんか習いませんよ。英語は「自然にならないうちから身につく」のが正しい方法です。」—

母語環境と外国語環境を混同した、典型的な誤りですね。

## Q それじゃあ、母語環境に近いものを用意すればいいのでは？

それでもまだ、こんな風にお考えになるかもしれません。「できるだけ母語環境に近いものを用意すれば、英語を自然に身につけることもできるんじゃないの？」と。

確かに理屈としては、日常生活での英語体験を母語並みにすれば、英語であっても自然に身につけることができそうです。しかしながら、これはあまり現実的な考えではありません。母語環境と外国語環境の差は、レッスンの時間を長くするか、週あたりの回数を増やすとか、家庭でできるだけ英語に触れる時間を作るとか、そんなことでは埋まりません。帰国子女や、国際結婚カップルの子どもでさえ、日本で暮らしつつ英語を自然に習得することはそう簡単ではないようです。それくらい、母語環境に匹敵する環境を用意することは難しいのです。

単に時間だけを比べればよいというわけでもないですが、

多くの学者が言語に触れる時間について計算しています。たとえば、「母語環境ではその言語の基礎が身につく5歳くらいまでに2万時間を超える言語刺激にさらされる。一方、外国語として英語に毎日3時間接触したとしても、同じだけの時間をカバーするには18年くらいかかってしまう。」と。

インターネットで検索すると、「英語子育て」などと呼ばれるものに多くの人々が興味を持っていることが分かります。実際に試みる人も多いようです。もちろん中には成功例もあるでしょう。しかし、そのための時間的・労力的・金銭的な負担が相当であることは、もっと認識されるべきでしょう。さらに、失敗例というか、失敗というレベルにも至らずに断念するケースも、かなりあるはずだと思われま

## Q やっぱり、結局はベンキョーなの？

では、どうすれば英語が身につくのでしょうか。

答えは単純です。「外国語としてきちんと学んで身につける。」これしかありません。学び続けることによって、初めて英語は身につくのです。このことは現実を見れば明らかです。ある程度の英語力を持っている日本人のうち、帰国子女などを別にすれば、大部分の人はこうして英語を身につけています。一般的になってきた海外への語学留学にしても、国内できちんと基礎を学んでおくことが、成功のカギだと言えるでしょう。

そうすると、「結局は勉強なの？」という声が、ため息とともに

聞こえてきそうです。英語の勉強というと、辛くて、つまらないというイメージをお持ちの方もおられるでしょう。しかし、実際に英語を身につけた人のことを考えてみましょう。彼らは基本的に英語が好きで、また英語を学ぶ楽しさを知っているはずで

だからこそ、コツコツと必要な努力を続けることができたのでしょう。お子さまの英語学習のモデルとすべきなのは、こういった人たちです。「英語を使えるようになりたい」という気持ちを失わずに、きちんと学んで英語を身につける。当たり前の方法に思えますが、これが最も現実的で、一般的な英語習得の道筋なのです。

## Q ズバリ！どんなふうに勉強すればいいの？

英語習得は長い道のりです。「英語が多少は使える」というやや控えめなレベルを想定しても、そこに到達するまでには、かなりの努力が必要です。ただし、特別な才能はいりません。この点は少し気が楽です。コツコツと学び続けられれば、そして方法を誤らなければ、努力に見合った成果は得られます。

ところが、なかなか上達を実感できないために、英語習得をあきらめたり、あるいは英語への興味そのものを失ってしまう人が多くいます。また、気持ちは理解できますが、「楽に英語が身につく画期的な学習法！」というような宣伝文句に思わず飛びついてしまう人もたくさんいます。

お子さまが将来も、あきらめず、投げ出さずに英語学習を続けていくためには、やはり成果の上がる方法で学習し、少しずつでも「上達している」という実感を得る必要があります。では、ズバリ、どんな勉強法が良いのでしょうか。

ここでは、幼児・小学生のうちから取り入れることができ、将来的にもずっと続けた方がよく、しかも絶大な効果がある学習法を紹介しておきます。

それは、「英語を声に出して練習すること」です。何と言っても、語学学習の基本中のキホンであり、これを疎かにしては、英語が使えるようにはなりません。

声に出して繰り返し練習することで、英語を音声イメージとして捉えられるようになります。そうすれば、英文を記憶するのも楽になり、話す力だけでなく、聞く・読む・書くといったスキルも上達します。逆に、音声として頭の中でイメージできない単語や文を、ただ書き写すような勉強法には、何の意味もありません。

まずは、恥ずかしがらずに、英語を声に出せるようになること。これが第一歩です。その後、ごく簡単な英文から暗唱練習を始めましょう。その上で、中学レベルの英文法の知識が身につけば、「簡単な内容なら何とか英語で言える」という状態に近づくでしょう。とりあえず目指すべきは、このレベルだと思います。

実のところ、これは私たちオシャンが掲げている年齢段階別の目標そのものです。(P5~6をご覧ください。)

# 楽しく身につく OCEAN ENGLISH CLUB

## 8つの特長

「子どものころに、こんなレッスンを受けたかった」と、保護者の皆さまにも評判のレッスンです。



# 1

### 外国人講師によるレッスン

オーシャンは外国人講師によるレッスン。外国人から指導を受けることにより、お子さまは英語を「コミュニケーションの道具」として、違和感なく受け入れられます。また、定期的に外国人講師と接する中で、外国人とも自然に親しみを持って触れあうことができるようになり、異文化に対する興味・関心も芽生えます。また、学年に応じて日本人スタッフが適宜サポートいたします。



# 2

### 子ども英語に特化した質の高い外国人講師

オーシャンの外国人講師は、厳しいトレーニングを積んだ「幼児・小学生指導に特化」した外国人講師ばかりです。また、日本の子どもたちの指導経験も豊富で、子どもたちの扱いにも慣れていしますので、お子さまを安心して預けたいことができます。



# 3

### オリジナル教材による優れたカリキュラム

オーシャンの教材はすべてオリジナル。「身につくレッスン」のために開発した他に類を見ない教材・カリキュラムです。最長小学6年間で、中学3年生までに出てくる主要なQ&Aが学習できます。小学生クラスで5~6年間学習した時点において、「世界標準の英語力」(英語で短期海外ホームステイができる程度の英語力)が身につきます。オーシャンの教材は、私立幼稚園・小学校や、私立中学校の1年生クラスでも利用されています。



## 4

## 楽しく身につくレッスン

オーシャンのレッスンは、圧倒的な発話量が特徴です。1回のレッスンで、お子さまは最低300回の発話をします。楽しみながら「たくさん聞いて、たくさん話す」、これが英語習得の基本です。英語はなかなか自然には身につきませんが、「楽しい英語トレーニング」を継続することにより、必ず英語が使えるようになります。



## 5

## 豊富なTPRでリスニング力が飛躍的にアップ

「Sit down.」と言われれば座り、「Stand up.」と言われれば立ちます。英語の指示に対して即座に身体で応える訓練(=TPR)を行います。英文を英語の語順のまま、日本語を介さずダイレクトに理解していく訓練です。小学生1年目の最終段階では、「If you like dogs, raise your right hand. If you don't like dogs, raise your left hand.」程度の長さの英文が即座に理解できるようになります。



## 6

## フォニックスにより「読み書きのルール」を習得

オーシャンでは、フォニックスで英単語の「読み書きのルール」を本格的に学習します。小学生クラスで4~5年学習した時点で、中学校英語の教科書に出てくる単語の約70%は、フォニックスのルールで読んだり書いたりできるようになります。小学生時代にフォニックスを学習しておけば、中学校に入ってからでも英単語で苦労することはありません。



## 7

## 家庭学習とのリンク

オーシャンの英語レッスンは基本的に週に1回です。より強固な定着を図るため、家庭でも履修内容をCDで聞いていただくことをお勧めしています。それほど時間はかかりませんが、継続していただくことで大きな成果が出ます。親子で一緒にCDを聞いていただくことで、保護者の皆さまにもお子さまの成長をご確認いただくことができます。



## 8

## 習得状況のチェック

オーシャンでは、通常のクラス内でも何度も復習を入れ、外国人講師がお子さまの習得状況をチェックし、未習得状況がなるべく起きないように配慮します。年度末には、当該学習教材に即した「到達度テスト」を実施します。また、小学生クラスでは、主教材であるTalk Time内の重要英文を暗唱する「スラスラチャレンジ」や、フォニックスのレベルをはかる「フォニックス進級テスト」を実施しています。



# こんなふうに学べば大丈夫。 きっと英語が使えるようになります。

日本人にとって、英語は外国語です。

これが母語のように自然に身につくことはありません。

けれども、適切な方法でコツコツと学び続ければ、かならず使えるようになります。

オーシャンでは以下のような年齢段階別の目標を設け、

まず小学6年卒業時に「世界標準」のレベルを達成します。

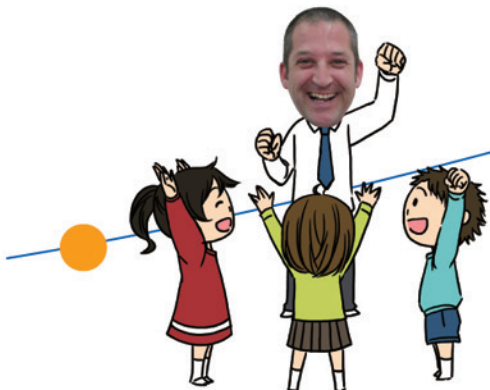
## ● 幼稚園児クラス

**目標** 英語を声に出す習慣をつける。

「声を出して練習すること」は、英語学習の基本中のキホン。「使える英語力」を身につけた多くの方が実践しています。極端に言えば、英語を声に出して練習する習慣と、英語への興味さえ維持できれば、かならず英語は上達します。

この大切な習慣は、英語学習の初期から身につけておきたいもの。幼稚園児から小学校低学年の子どもたちは、元気に声を出すこと自体を楽しむ傾向があり、年齢的にもこの習慣化に最も適しています。

先生の英語を真似る、英語で元気に答える。子どもたちの「発話回数」の多さが、オーシャンのレッスンの特長です。



## ● 小学生クラス

**目標** 簡単な英文から暗唱練習を始める。  
中学レベルの基本英文に耳と口でマスターし「世界標準」のレベルを達成する。

引き続き、英語を声に出して練習する習慣を徹底し、簡単な英文から暗唱練習を始めます。そして、小学生のうちに、中学3年間で習う基本英文に耳と口で慣れておきます。

中学レベルの英語を身につけなければ、日常会話であれ何であれ、英語が使えるようにはなりません。ところが、英語を聞いたことも、口にしたこともない状態から学び始めた場合、中学3年間でこのレベルに達するのは、時間的にかなり無理があるのです。

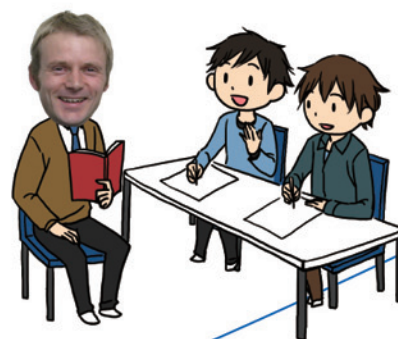
中学入学前に、耳と口で基本英文に慣れておくこと。また、それらを暗唱できるようにしておくこと。これが、小学生クラスの目標です。すでにその効果の大きさは中学生クラスで実証済みです。



## ● 中学・高校生クラス(OCEAN本校のみ)

**目標** サッとと言える英文をどんどん増やす。

OECで小学6年生卒業時に「世界標準」のレベルに達した子どもたちは、基礎力は十分ですし、音読して記憶する能力がしっかりついています。中学生・高校生クラスは、OSDに移行し、「滞在自立型学習(70分)+外国人講師による完全プライベートレッスン(10分)」の形態で、個々のレベルやペースに合わせた指導を行います。「使える英語」に必要な基本英文の暗唱も継続しますが、生徒の希望に応じて、「定期考査対策・入試対策」も行います。外国人講師による完全プライベートレッスンでは、実践的な会話力をブラッシュアップしていきます。



外国語として英語を学習する際には「世界標準」があります。  
(詳細は巻末「アジアの英語教育事情」をご覧ください。)

### <英語学習の世界標準>

- ① 12歳 「ネイティブから英語で質問された場合、自分自身や身の回りのことについて英語で答えられる。」  
(⇒英単語数：800語～1,200語・日本の中学3年生履修文法事項修了程度)
- ② 15歳 「自我の確立と共に、英語で自分の意志や考えを表現することができる。」  
(⇒英単語数：2,500語～3,000語)
- ③ 18歳 「英語で討論(debate)ができる。」  
(⇒英単語数：5,500語～6,500語)  
※東大合格には6,000語は必要だと言われている。

## ● 大学生・一般

**目標** 自分の進路や仕事に合わせて、必要な英語力を身につける。

オーシャンでしっかりした基礎力を身につけた後、大学生以降は、自分の目標(進路や仕事)に応じて、自力で英語学習を継続していくことができます。方法は以下いくつもあります。楽しみながら英語学習を継続することができれば、必ず使えるようになります。

- 洋画を繰り返し観る。  
(実は安価で一番英語が身につく方法です。スクリプトも売っています。)
- 英語音声教材(素材)で独学する。
- 日本国内でも外国人の友人をつくって英語でコミュニケーションを図る。  
(大学にも多くの留学生がいます。)
- 海外留学をする。 など



# 幼稚園児クラス(年少さん～年長さん) for Kindergarten Children

元気よく、声に出して練習する。  
これが英語学習の基本中のキホン。  
「使える英語」を身につけるために  
幼児期から、これを習慣にしましょう。

こんなことが身につきます！

**圧倒的な発話回数。**  
英語を元気よく声に出して  
練習する習慣が身につきます。

英語の勉強には、声に出す練習をかならず取り入れる。これが当たり前の習慣として身につくかどうかは、お子さまの英語習得の成否を大きく左右する大切なポイントです。

**ありきたりの幼児向け  
レッスンとは、触れる英語の  
質と量がまったく違います。**

英語を学び始めたばかりのお子さまでも、バリエーション豊かな英語を体験できる。他の教材にはない画期的な仕組みが、オリジナル教材「Moja-kunシリーズ」の一番の特長です。

**アルファベットだけで  
なく、フォニックスの基礎  
もしっかりと身につきます。**

アルファベットを「エイ・ビー・シー…」で習うと同時に、「ア・ブ・ク…」という音でも学びます。「moonはどんな文字で始まるかな？」という質問に答えられる力が身につきます。

基本的なレッスンの流れ



**復習しながら丁寧に指導します。**

定着を図るためには、こまめな復習が欠かせませんが、単調な繰り返しは退屈です。子どもたちが興味を失わないように、いろいろな方法を組み合わせて復習をします。また、「分かるって楽しい！」という気持ちを与えるように配慮し、自信や興味を持たせます。

**発話練習を中心に、歌やゲームも活用。**

フラッシュカードに合わせて先生の英語をリピートする。先生の質問に英語で答える。これらの基礎練習はしっかりと行います。一方で、子どもたちを飽きさせないように、歌、TPR(動作)、クイズ、ゲーム、ワークブック、CDなど、多彩な方法を使って指導します。

**聞く話すが7、読む書くが3の割合です。**

およその目安として、レッスン時間の7割を「聞く・話す」、残りの3割を「読む・書く」のトレーニングに充てています。音声にかかわる「聞く力・話す力」を先行させて養い、その後で文字にかかわる「読む力・書く力」を伴わせるのが、自然で効率的な順序です。

他にはないコンセプトのオリジナル教材。だからレッスンも他とは違います。保護者の皆さまにも大好評！

聞く 話す English with Moja-kun (イングリッシュ・ウィズ・モジャくん) シリーズ

What's this? や Do you like elephants? だけじゃつまらない！ もっと面白い質問をどんどん投げかけたい！

講師たちのそんな想いから生まれたオーシャンのオリジナル教材です。

英語が飛び交うレッスンを実現する、画期的な仕掛けが特長です。

幼稚園児向けのありがちなレッスンでは、英単語を教えた後、「これは何？」とか「好き？嫌い？」などの単純な質問に終始しがちです。でも、これでは色でも動物でも食べ物でも、結局子どもたちは同じような質問ばかりを聞かされることとなります。つまらないですよ。

このテキストの一番の特長は、単語を組み合わせることで、いろんな質問を子どもたちに投げかけられる点です。たとえば、「お店や場所とそ

の目的」を扱ったレッスンでは、「パン屋さんでおもちゃを買う？」「郵便局で何をする？」「どこで髪を切ってもらう？」などの質問が可能です。

最初はカードを見せながら練習しますが、やがて子どもたちはカードを見なくてもキーワードを正確に聞き取り、英語の質問に英語だけで答えられるようになります。生き生きと英語を発するその姿に、保護者の方々が驚かれることもよくあります。



全3バージョン  
幼稚園3年間をカバー  
家庭学習用CDあり



レッスンはこんな感じです。



フラッシュカードで  
元気にリピート練習！



ワークブックで内容を  
きちんと理解。



こんなやり方なら、恥ずかしがり屋の  
お子さんにも負担になりません。



最終的には英語だけで。  
結構スゴいでしょ。

読む 書く Alphabet World (アルファベット・ワールド) シリーズ

アルファベットの大きい文字・小さい文字およびフォニックスの初歩を学びます。



大文字・小文字の読み書きと、1文字レベルのフォニックスを学習します。それぞれの文字で始まる単語を2つずつ、計52単語を収録しています。

フォニックスとは、英語の文字と音との関連を学ぶ分野です。例えば、alは「エイ」という読み方のほかに、「ア」という音を持つことを学びます。appleの発音を聞いてそれがaで始まることを理解できるようになります。



全3バージョン  
幼稚園3年間をカバー  
家庭学習用CDあり



小学生クラス(小学1年生～6年生)

# for Elementary School Students

何度も声に出して練習する。  
スラスラと言える基本英文を増やす。  
日本にいながら「世界標準」の英語力を身につける。

こんなことが身につきます！

声に出して練習する習慣をつける。これを何年も続けられれば、その効果は絶大です。

小学生クラスでも引き続き、英語を声に出して練習する習慣を徹底します。最初は短い英文にも苦勞しますが、継続によりどんどん上達するので、英語学習が楽しくなります。

中学レベルの基本英文を繰り返し練習し、少しずつ暗唱できるようにします。

聞いたことも口に出したこともない状態で、中学入学後から英語を学び始めることには、やはり無理があります。小学生の間に中学レベルの基本英文に口と耳で慣れておきます。

フォニックスの知識を使って、基礎的な英単語を読んだり書いたりできます。

フォニックスは「読み・書きのルール」です。スペルを見て発音を、発音を聞いてスペルを推測する力を養い、「読めない・書けない」といった英語学習初期の不安を取り除きます。

## 基本的なレッスンの流れ



効率的に復習し、確実な定着を図ります。

英語の難しさは、覚えるべきことの多さにあります。「覚えては忘れ、忘れてはまた覚え直す」ということは避けられません。オーシャンでは、5分の復習時間を有効に使うために、フラッシュカードや、テキストにも工夫を凝らしています。

リピート練習から暗唱できるまで指導。

フラッシュカードに合わせて先生の英語をリピートする。まずはこの練習から始めますが、機械的に英語を言わせるわけではありません。オーシャンでは英文の意味の確認もきちんと行い、英語から日本語に、そして日本語から英語に直せるよう指導します。

聞く話すが7、読む書くが3の割合です。

例えば、What time do you go to bed? という英文を教える時には、きちんと聞いて答えるように、まず指導します。その状態でフォニックスの基礎知識が身につけば、正確に読め、また書けるようになります。「聞く話す」を先行して教えることが、「読む書く」の上達につながるのです。

「楽しくて、きちんと身につくレッスン」を追求したら、既存の教材には満足できませんでした。

聞く 話す Talk Time (トーク・タイム) シリーズ

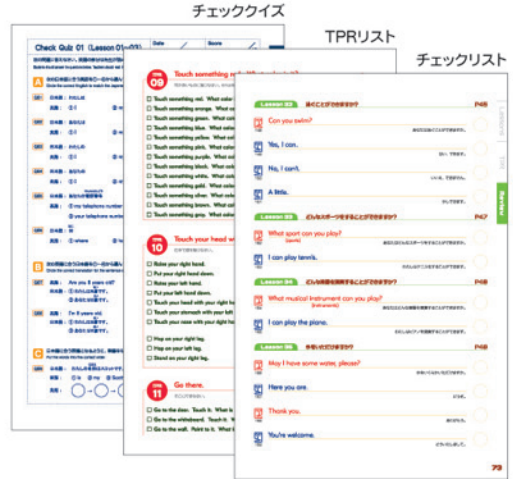
レッスン時間は非常に限られており、いろいろなことを盛り込みすぎると、何もかもが中途半端になります。私たちは、思い切ってレッスンの目標を絞り込みました。「基本英文をしっかりと身につける」。これだけです。そのかわり、将来の英語学習を支える基礎力が、しっかりと身につくようになりました。

簡単な英文をスラスラ言えるまで練習する。そして、サッとと言える英文を少しずつ増やしていく。地道な方法ですが、こうすれば「使える英語」に一歩ずつ近づいていきます。これをコンセプトにして Talk Time シリーズは作られています。本当に必要な要素だけを、無駄のないレッスンができるようになったため、定着度が大幅に向上しました。

また、Talk Time シリーズは「学習内容が一目瞭然」という分かりやすさを備えているので、保護者の皆さまにも大変好評です。巻末にはすべての基本文を収録したリストが復習用に設けてあり、またCDを使った家庭学習も可能です。中学3年間に習う基本英文を、小学校6年間でカバーしています。



全6レベル  
小学校6年間でカバー  
家庭学習用CDあり



レッスンはこんな感じです。



まずはフラッシュカードで  
元気にリピーター練習！



みんなで順番に発表したり、



先生と1対1で会話の練習をします。



日本語を聞いて、それを英語  
で言えるように練習します。

読む 書く Phonics (フォニクス) シリーズ

まずは初歩から1文字ずつ学び、6年間で発音記号を含む上級レベルまで指導します。



フォニクスとは、英単語のつづりと発音の関係を学ぶ分野です。積み重ねの要素が大きい分野なので、宿題をきちんとやるのが大切になります。

ただし、フォニクスの分野が苦手でも、主教材を使ったQ&Aはきちんとできる子どもも多くいます。また、英会話の上達という観点から言えば、フォニクスは将来的に文字ベースの勉強ができるようになるための準備だと言えます。したがって、お子さまがなかなか英単語を読めるようにならなくても、過度に心配していただく必要はありません。



全5レベル  
小学校6年間でカバー  
家庭学習用CDあり

# Curriculum

## カリキュラム

オーシャンのオリジナル教材は、学習内容が一目瞭然。

「レッスンで何を習うのか分かりやすい」と保護者の皆さまにも大変好評です。

市販の英語教材をあれこれ組み合わせる使用英語教室もありますが、

それでは場当たり的なレッスンになってしまい、きちんと定着を図ることができません。

いつ何を習うのかきちんと決まっていること。これもオーシャンの特長の一つです。

### 幼稚園児クラス

レベル差のない3バージョンがあり、幼稚園3年間をカバーします。年度ごとにローテーションさせて使用します。

#### English with Moja-kun シリーズ (聞く・話す)

#### Alphabet World シリーズ (読む・書く)

	<p><b>Blue バージョン (全12レッスン)</b>            What does a cow say? (ウシの鳴き声は?)、Does Moja-kun wear rain boots on a sunny day? (晴れた日に長ぐつはかかな?)、What does Moja-kun eat for breakfast? (朝ごはんは何を食べる?)、Does Moja-kun sleep in a bathroom? (お風呂で寝る?)、This animal has a trunk and big ears. What is it? (長い鼻と大きな耳。何かな?) など。</p>		<p><b>Dinosaur バージョン</b>            2単語×26文字=52単語を収録。            Aa: ambulance, alligator            Bb: bike, boy            Cc: car, cow ……</p>
	<p><b>Green バージョン (全12レッスン)</b>            Does Moja-kun go swimming in winter? (冬に泳ぎに行く?)、What does Moja-kun buy at a bookstore? (本屋さんでは何をかう?)、Moja-kun breaks a vase. Does he say "Yummy"? (花瓶を割っちゃった。「おいしい」って言う?)、When Moja-kun colors a picture, what does he use? (絵に色を塗るときは何を使う?) など。</p>		<p><b>Kangaroo バージョン</b>            2単語×26文字=52単語を収録。            Aa: anchor, arrow            Bb: balloon, baby            Cc: castle, comb ……</p>
	<p><b>Orange バージョン (全12レッスン)</b>            Can Moja-kun see a starfish in the mountain? (山でヒトデは見られる?)、Where does Moja-kun skate? (どこでスケートする?) Does Moja-kun cut wood with a kitchen knife? (木は包丁で切るかな?)、Moja-kun likes soccer. What does he want to be? (サッカーが好き。将来は何になりたい?) など。</p>		<p><b>Monkey バージョン</b>            2単語×26文字=52単語を収録。            Aa: apple, ant            Bb: book, bus            Cc: cap, cat ……</p>

### 小学生クラス

6レベルがあり、小学校6年間をカバーします。レベル2以降は、約3分の1を前レベルの復習に充てています。

#### Talk Time シリーズ (聞く・話す)

#### Phonics シリーズ (読む・書く)

	<p><b>Talk Time 1 (全35レッスン)</b>            be動詞、一般動詞、助動詞canを使った初歩的な英文など。(以下は収録例)            What's your name? (名前は何かですか。)/ How old are you? (何歳ですか。)/ Where do you live? (どこに住んでいますか。)/ Do you like elephants? (ゾウは好きですか。)            What animal do you like? (どんな動物が好きですか。)/ Can you swim? (泳げますか。)</p>		<p><b>Phonics Starter</b>            大文字と小文字            名前読み(エイ・ビー・シー)            音読み(ア・フ・ク)            mapなど3文字の単語</p>
	<p><b>Talk Time 2 (全35レッスン)</b>            前レベルの復習、一般動詞、一般動詞の3単現、現在進行形など。(以下は収録例)            When is your birthday? (誕生日はいつですか。)/ What time do you get up? (何時に起きますか。)/ Does Sophie live in Paris? (ソフィーはパリに住んでいますか。)/ Ken has a guitar. (ケンにはギターを持っています。)/ Is Ken sleeping? (ケンは寝ていますか。)</p>		<p><b>Phonics Adventure 1</b>            前レベルの復習            redなど3文字の単語            winとwineなど 黙字の e            sh, ckなど 合わせ子音字</p>
	<p><b>Talk Time 3 (全32レッスン)</b>            前レベルの復習、be動詞の文、一般動詞の過去形、want to～など。(以下は収録例)            What's under the bridge? (橋の下に何がありますか。)/ This is Glen's pencil. (これはグレンの鉛筆です。)/ Is Anna a student? (アンナは学生ですか。)/ I watched TV. (テレビを見ました。)/ What time did you get up? (何時に起きたか。)</p>		<p><b>Phonics Adventure 2</b>            前レベルの復習            bl, drなど 連続子音字            c, g, s 2つの音を持つ子音字            u, y いろいろな音を持つ文字</p>
	<p><b>Talk Time 4 (全31レッスン)</b>            前レベルの復習、一般動詞の過去形、be動詞の過去形、未来形など。(以下は収録例)            I read a newspaper this morning. (今朝新聞を読みました。)/ Was Amanda absent from school yesterday? (アマンダは昨日学校を休んでいましたか。)/ I'm going to buy a new bicycle tomorrow. (明日新しい自転車を買うつもりです。)</p>		<p><b>Phonics Adventure 3</b>            前レベルの復習            ai, ay, ee, ea, oa, oe, ue, ui, au, oi,            ou, ow など2文字母音            総復習</p>
	<p><b>Talk Time 5 (全25レッスン)</b>            前レベルの復習、助動詞will, have to～、比較、現在完了(経験)など。(以下は収録例)            I will come home by 5:00. (5時までには帰宅します。)/ You have to see a doctor. (医者に診てもらわなければなりません。)/ I am taller than Brett. (私はブレットよりも背が高いです。)/ Have you ever been to Hawaii? (ハワイに行ったことがありますか。)</p>		<p><b>Phonics Master 1</b>            フォニックスの総復習            発音記号            いろいろな子音字            いろいろな母音字</p>
	<p><b>Talk Time 6 (全20レッスン)</b>            前レベルの復習、現在完了(継続)、最上級、受動態など。(以下は収録例)            I have lived in Nagoya for seven years. (私は7年間名古屋に住んでいます。)/ What food do you like the best? (どんな食べ物が一番好きですか。)/ What language is spoken in Brazil? (ブラジルでは何語が話されていますか。)</p>	<h1>総復習</h1>	

無理なく楽しく「世界標準」レベルを達成するオーシャンのオリジナル教材には、以下の単語数・Q&A・TPRが含まれています。継続すれば、ビックリするほどの量を学習することになります。これは、一般的な英会話教室の3倍～5倍の量になります。

■幼児用教材：

English with Moja-kun ( EWM ) シリーズ

テキスト名	単語	Q&A	TPR
① EWM(Blue)	233語	70種類	21種類
② EWM(Green)	245語	84種類	23種類
③ EWM(Orange)	268語	49種類	20種類
<b>合計</b>	<b>746語</b>	<b>203種類</b>	<b>64種類</b>

■幼児用教材：

Alphabet World ( AW ) シリーズ

テキスト名	単語
① AW (Dinosaur)	52語
② AW (Kangaroo)	52語
③ AW (Monkey)	52語
<b>合計</b>	<b>156語</b>

■小学生用教材：

Talk Time ( TT ) シリーズ

テキスト名	単語	Q&A / Sentences	TPR
① TT1	200語	159種類	287種類
② TT2	165語	222種類	200種類
③ TT3	175語	223種類	208種類
④ TT4	228語	253種類	----
⑤ TT5	230語	148種類	----
⑥ TT6	196語	257種類	----
<b>合計</b>	<b>1,194語</b>	<b>1,262種類</b>	<b>695種類</b>

小学生用教材：

Phonics シリーズ

テキスト名	単語
① Starter	45語
② Adventure 1	165語
③ Adventure 2	350語
④ Adventure 3	358語
⑤ Master 1	340語
<b>合計</b>	<b>1,258語</b>

— ぜひともご理解いただきたいこと —

日本の子どもたちが英語を学ぶ時に一番大切なことは何でしょうか。できるだけ早期に英語学習を始めることでしょうか。それとも毎日英語を耳にすることででしょうか。

私たちは何よりもまず次のことが大切だと考えています。

— コミュニケーションに対する興味が健全に育つこと。 —

赤ちゃんが言葉を身につけていくときのことを考えてみましょう。お父さんやお母さんが愛情をもって赤ちゃんに接すると、赤ちゃんは何かそれに応えようとする。たとえそれがまだ言葉を伴わない表情によるコミュニケーションであったとしても、何らかの意思が通じたと感じた時、赤ちゃんは本当にうれしそうな顔をします。他人と心を通わせることで、人生は豊かになるのです。

そして、英語学習の大きな目的も、ここにあります。言語がコミュニケーションのために存在する以上、コミュニケーションそのものへの関心を高めることは、あらゆる言語教育において共通の出発点になるはず。逆に言えば、コミュニケーションに対する興味や、あるいは気遣いや礼儀を欠く人間に育ててしまっただけでは、技術的に高い英語能力を持っていても、それが人生を豊かにすることは不会でしょう。

グローバル化やインターネットの発達により、他の国の人たちと英語を使ってコミュニケーションを図る機会は確実に増えました。その一方で、現代社会においては、コミュニケーションの希薄化や、人々のコミュニケーション能力の低下が指摘されています。

お子さまの英語学習を見守っていただきながら、それ以前の大きなテーマとして、「コミュニケーションに対する興味」をしっかりと育てていただきますよう、ご家庭でもご理解のほど、よろしく願いいたします。



## 株式会社オーシャングローバルネットワーク

---

〒452-0814 名古屋市西区南川町297番地  
TEL:052-506-9077 FAX:052-506-9078  
URL:[www.ocean-gnet.com](http://www.ocean-gnet.com)